ニコニコ箱

平野ガバナー率いる福井ロータリークラブメンバーの皆さまの大活躍おめでとうございます。本日も温かく迎えていただきありがとうございます。（神戸西 RC/ 飯田美奈子様）
髙木会長の代役を務めさせていただきました。飯田さん、素晴らしい歌声ありがとうございました。（清川卓二）
飯田さん、素敵な歌声ありがとうございました。（淡島智子）
桑原さんに敬意を表して。（伊井彌州雄）
寒くなりましたが、インフルエンザが流行っているので皆様、お気を付けください。（井上　繁）
健康に感謝して。（草野雄司）
本日もご寄付ありがとうございます。（桑原慎治）
先日のポリオ募金お疲れ様でした。同じテーブルで桑原さんのいやらしい笑顔がありましたので久しぶりにニコニコ。（谷﨑由美子）
本日、早退させていただきます。（中広　久）
寒くなってきました。皆様、健康には気を付けて元気にクリスマス例会に参加ください。（藤田豊久）
次男にとっては第一子。私にとっては５人目の孫に恵まれました。健やかに育つことを祈るばかりです。（村中洋祐）
清川副会長、初挨拶お疲れ様でした。（森川圭造）
いつもありがとうございます。世界中の人々が幸せになりますように。（八木信二郎）
飯田さん、素晴らしい歌声ありがとうございます。（渡辺和男）
【地区委員就任】・【誕生日御祝】英　貴子
【在籍御祝】・【結婚記念日御祝】渡辺崇嗣

各　君

ロータリー財団増進特別寄付金

ポリオデー皆さんありがとうございました。福井県下 RC が一丸となった一日でした。（清川卓二）
世界に平和を。（出雲路康照）
飯田先生の「オーソレミーヨ」素晴らしい歌声に感動です。私も声が大きい方ですが、負けました。（佐々木知也）
ポリオ一斉募金参加出来ず残念でした。（辻橋清和）
油谷さん、初発表頑張ってください。（寺本光宏）
みなさんで笑顔で歌いましょう。（中田千晶）
久しぶりなので。（林　洋三）
油谷光紀

各　君

米山奨学特別寄付金

瀬越さん、素晴らしい卓話、ありがとうございました。（清川卓二）
瀬越委員長、卓話ご苦労様です。（加藤幹夫）
竹下さんと同じテーブルになったので。（木村佳美）
瀬越さん、卓話ありがとうございました。（光照良眞）
瀬越委員長、卓話ありがとうございました。（小林直行）
米山に愛をこめて。（清水則明）
卓話の時間をいただきありがとうございました。（瀬越智和）
飯田さん、ようこそ福井 RC へ。また美しい歌声をお聞かせくださるのを楽しみにしています。瀬越さん、卓話ありがとうございました。（髙村昌裕）
瀬越会員、お疲れ様でした。（中田善弘）
明日は５０年ぶりの式年大祭です。（新田義和）
瀬越委員長、卓話ありがとうございました。（服部克成）
瀬越さん、頑張ってください。（英　貴子）
瀬越委員長、卓話をありがとうございます。（渡邉義信）
浮田愼太郎・大森正男・木村 茂・滝本光男・竹下耕輔・玉木 洋

各　君

寄付金の状況

	10月 29日分	累　計	目　標
ニコニコ箱	47,000円	1,.039,993円	3,000,000円
ロータリー財団	24,000円	2,687,580円	4,972,800円
米山奨学金	39,000円	1,291,000円	2,640,000円

ありがとうございました。

例会回数の誤記載に関するお詫びと訂正

10 月 29 日に配布いたしました会報において、例会の開催回数に誤りがございました。**正しくは「3688 回」**となります。
誤記載につきまして、深くお詫び申し上げます。

＜福井市内 8RC 例会 情報一覧＞ 市内 RC の例会に出席してみよう

日		時	クラブ名	例会会場	ビジター料	例会内容 / 卓話演題
11/ 9	月	12:30	東 RC	アオッサ		クラブフォーラム
11/10	火	12:30	南 RC	アオッサ	2,000 円	会員卓話
		18:30	フェニックス RC	グランユアーズ	2,500 円	異業種交流会
11/11	水	12:30	北 RC	グランユアーズ	3,000 円	ロータリー財団フォーラム「キルギス視察報告」/ 古林 秀則会長
11/12	木	12:30	西 RC	アカデミア		休会
		19:00	水仙 RC	福井パレス		移動例会
11/13	金	12:30	あじさい RC	アオッサ		移動例会
11/16	月	12:30	東 RC	アオッサ		夜間例会
11/17	火	12:30	南 RC	アオッサ		休会
		18:30	フェニックス RC	グランユアーズ		休会
11/18	水	12:30	北 RC	グランユアーズ	2,000 円	会員卓話 飛田 幸平会員 / 防災について（仮）
11/19	木	12:30	西 RC	アカデミア		
		19:00	水仙 RC	福井パレス		休会
11/20	金	12:30	あじさい RC	アオッサ		休会

事務所　〒910-0006 福井県福井市中央１丁目３番１号加藤ビル５階 TEL：0776-25-0633　FAX：0776-24-8622
例会場　ザ・グランユアーズフクイ３Ｆ　TEL：0776-24-3200　例会 毎週木曜日 12：30 ～ 13：30
クラブ会報委員会　委員長：佐々木公啓　副委員長：新田 義和
委員：中田 千晶・瀬川 裕司・鈴木 武雄・光照 良眞・竹下 耕輔
ソングリーダー♪：中山 浩成　サブリーダー♪：吉岡 正盛・浅井 正勝・堀内 康代・鷲田 泰紀・小野田 亮・辻橋 清和・早川 和伸・石川 浩基・中田 千晶
ホームページ　http://www.fukui-rotary.com/　E-mail info@fukui-rotary.com
創立　1950年（昭和25年）10月15日　RI承認　1950年（昭和25年）12月4日（承認　№ 7647）

現在会員数 141 名

福井ロータリークラブ会報　2026年11月5日　第2738号（創刊2892号）

ROTARY CLUB of FUKUI

R.I. District 2650 2026-2027 Weekly Bulletin

Rotary 福井ロータリークラブ

2026-27年度 福井ロータリークラブテーマ	2026-27年度 国際ロータリー会長メッセージ	2026-27年度 国際ロータリー第2650地区スローガン
Beyond the 75th そして新たなステージへ…	持続可能な インパクトを 生み出そう	「新しい扉を開く」 ― 成長と持続のバランスを ととのえる一年に ―
2026-27年度　福井ロータリークラブ **会長　髙木 義秀**	2026-27年度　国際ロータリー **会長　オラインカ・ハキーム・ババロラ**	2026-27年度　国際ロータリー第2650地区 **ガバナー　平野 洋一**

ガバナー　平野 洋一　パストガバナー　宮﨑 茂和

今月のガバナー月信表紙



【今月の花　カサブランカ】
花言葉／高貴・純粋・威厳

11 月は
「ロータリー財団月間」です

ロータリークラブ会員の情熱と
財団の支援が結びつく時、地域社会
全体に変化をもたらします

理事				特別理事・監事		役員補佐	
会長	髙木　義秀	クラブ奉仕	淡島　智子	地区大会特別理事	渡邊　義信	副幹事	松田　将裕
副会長	清川　卓二	職業奉仕	中広　久	IM特別理事	増田喜一郎	副会計	初瀬川達郎
直前会長	江守　康昌	社会奉仕	田畑　賢一	監事	野村　直之	副会計	高島　悠輝
幹事	城戸　利枝	国際奉仕	村中　洋祐	監事	佐々木知也	副会場監督	吉岡　正盛
会計	岩崎　新	青少年奉仕	中田　善弘			副会場監督	早川　和伸
会場監督	清水　盛伸	ロータリー財団	木村　佳美				

本日の例会　2026年11月5日　第3689回

12時30分　開会点鐘
会長挨拶
米山奨学金授与（エー ミィッ アウンさん）
栄誉行事
皆出席御祝／　野村直之（14年）・伊井彌州雄（12年）・石丸敦士（1年）
誕生日御祝／　瀬越智和・佐々木知也・山田隆史・片岡正明・甕 直俊・田中秀也・谷﨑由美子・永森幹朗
配偶者誕生日御祝／柳町剛弘・荻原昭人・林 正岳・片岡正明・山本 宝・鷲田泰紀・木村憲一・竹下耕輔・岩下春幸・中田善弘・髙村昌裕
金婚御祝／　野尻章博・今村善孝
銀婚御祝／　永森幹朗・髙村昌裕
結婚記念日御祝／　大谷諭史・田中秀也・吉岡正盛・南 宏季・辻 武志・高島悠輝・服部克成・濱田秀一郎・中広 久・畑下徳洋・北川 聡・梅井啓介・岩下春幸・林 洋三・中山浩行
委員会報告・幹事報告・その他
クラブフォーラム　テーマ「福井RC 今後の奉仕事業について」
13時30分　閉会点鐘

今後の予定

■11月12日(木)
委員会卓話
（ロータリー財団委員会）
■11月14日(土)
インターシティーミーティング
（ＩＭ）　第６組
■11月19日(木)
ゲスト卓話
（一般社団法人
日本パペットカウンセリング協会
代表理事　鈴木 幸一氏）
■11月26日(木)
職場訪問
（訪問先：かいほつの湯）

会長挨拶



2026-27 年度 副 会 長
清川 卓二

皆様、こんにちは。本日は、髙木会長がご欠席のため、私が代わってご挨拶を申し上げます。
まず、10 月 25 日に実施されました、県下 RC 一斉のポリオ募金活動についてご報告いたします。
県内の多くのロータリークラブ、そして大勢のロータリアンの皆様が活動に参加され、ポリオ根絶への協力を呼びかけました。ご参加いただいた皆様、準備にご尽力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。
この活動に先立つ 10 月 24 日は、「世界ポリオデー」でした。この日は、初めてのポリオワクチンを開発したチームを率いた、ジョナス・ソーク博士の誕生を記念して、国際ロータリーが制定したものです。ワクチンの開発によって生まれた希望を、世界中の子どもたちに届けていく。そのために、私たちロータリアンも活動を続けています。地域での一つひとつの呼びかけや、寄せられる善意が、世界の子どもたちの未来につながる。今回の募金活動も、そうしたロータリーの力を形にする、大切な機会になりました。
さて、平野ガバナーの公式訪問も、いよいよ終盤を迎えつつあります。各クラブでのガバナーアドレスが、多くの皆様の心に響き、感動を呼んでいます。その反響を、思いがけない場所で実感したことがありました。
少々、場所の話は恐縮なのですが、ある例会の後、私がトイレの個室で用を足しておりましたら、外から、お二人のロータリアンの会話が聞こえてきたのです。
「今日の平野ガバナーアドレス、すごく良かったね。感動した。」そんな言葉を交わしておられました。
まさか、トイレの個室でガバナーアドレスの評判を聞くことになるとは思いませんでしたが、こうした何気ない場面で自然に出てくる言葉には、飾りのない、本当の気持ちが表れるものです。
お話が終わっても、その余韻が残り、誰かと感想を交わしたくなる。平野ガバナーのお話が、会員の皆様の心に深く届いていることを感じる出来事でした。
人の心に届く言葉があり、その思いを形にする行動がある。ロータリーの活動は、その積み重ねなのだと思います。
私たちも、心に響いた思いを日々の奉仕につなげ、仲間とともに、できることを一つずつ重ねてまいりたいと思います。
福井ロータリークラブのガバナー公式訪問例会は、12 月 10 日であり、平野ガバナー年度として最後の公式訪問です。みなさん楽しみにしておいてください。
本日も、皆様にとって実りある例会となりますことを願いまして、会長に代わってのご挨拶とさせていただきます。
ありがとうございました。

次回の例会　2026年11月12日(木)
■ 会場：ザ・グランユアーズフクイ
■ ロータリー財団委員会卓話
（寺本 光宏ロータリー財団委員長）
■ 開会点鐘：12時30分
■ 閉会点鐘：13時30分

2026 年 10 月 29 日　　第 3688 回

出席報告	
● 現在会員	141名
● 出席者	75名
● 欠席者	59名
● 出席免除者欠席	7名
● 今回例会出席率	56.0%

例会修正出席率	9 月 17 日
● メークアップ	37名
● 欠席者	28名
● 修正出席率	80.7%

例会報告

ビジター紹介

飯田 美奈子様
(神戸西 RC)



●メークアップ　　平野洋一・城戸利枝(10/27　桜井＋やまと西和)、平野洋一・長谷美左子(10/29 びわ湖八幡、11/2 京都紫野)、平野洋一・村中洋祐(11/4　京都朱雀) 、平野洋一・清川卓二・渡邉義信・藤本潤一・谷﨑由美子・田中秀也(10/31 IM第4組)、村中洋祐(10/24 地区クラブ職業奉仕担当者会議・10/24 地区バルセロナ国際大会説明会)、城戸利枝(10/25 地区第４回 ロータリー財団委員長会議)、(10/25 福井県下RC一斉ポリオ募金活動 42名)、英 貴子(9/6地区 米山奨学委員長会議福井ブロック、9/13 第１回青少年奉仕担当者会議、10/26 福井ブロック米山奨学生親睦行事、大野、勝山)　　各 君

幹事報告

副 幹 事　松田 将裕



本日は米山ランチでございました。

委員会報告



職業奉仕担当　中広　久理事

本日は、職場訪問例会のご案内をさせていただきます。

今回は、11 月 26 日の 11 月最終例会となります。
岩下会員がご経営されておられます「かいほつの湯」にて開催をさせていただきます。

当日は福井駅周辺からの送迎車もご用意しております。

また、岩下会員のご厚意で、施設の「見学」並びにその後、お風呂に入っていただけるという特典付きでございますので、みなさまの出欠のご返答をぜひとも早めに事務局あてお返しいただきたいと思います。よろしくお願いいたします。



ソング担当　中山 浩成リーダー

本日は皆さんにご提案がありましてお時間をいただきました。

先日、村井会員とお話する機会があってその時に、「ロータリーソング以外の曲もみんなで歌ってみるのはどうか」というお話がありました。これは理事会にてご承認をいただく必要のある事象と承知していますが、調べてみますと、他のクラブでは、自分たちのクラブの曲を作って歌ったり、みんなが知っている童謡などいろいろな曲を楽しんで歌っているところもあるようです。

今日はこのことを皆さんにご紹介、ご提案させていただき、今後、理事会にお諮りしていきたいと考えておりますことを報告いたします。

また今日は良いタイミングで飯田 美奈子さまがビジターとしておられますので、急で申し訳ないですが皆さんが知っている、「ふるさと」をご一緒に歌ってみたいと思います。

皆さん、よろしくお願いいたします。

神戸西 RC　飯田 美奈子様



今日はピアニストの竹沢さんにお会いすることができてとても嬉しく思っております。

平野ガバナーが頑張ってみなさまと共に光となって、国際ロータリーを前進させているということで、私の太陽よ「オー・ソレ・ミオ」を歌わせていただきたいと思います。





ロータリー財団担当　木村 佳美理事

先日の福井県下一斉ポリオ募金活動のお礼とご報告をさせていただきます。

10 月 25 日に行われました、県下 RC 一斉の募金活動にご参加いただきました皆さま、ありがとうございました。

当福井ロータリークラブの募金金額総額は、84,581 円の募金をいただくことができました。皆さま方のご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

当日は、我々は 1 時からの活動でしたが、平野ガバナー、また、江守実行委員長、そして、寺本財団委員長はじめ、ご協力いただいた皆さまには、早朝より全会場を分刻みのスケジュールで回っていただきました。

また当日は大雨で風の強い厳しい気候だったにもかかわらずご協力いただきましたこと、本当に感謝申し上げます。

引き続き、来月 11 月はロータリー財団月間になります。

ポリオ活動のみならず、財団全般の活動にご理解ご協力を引き続きよろしくお願いしたいと思います。



社会奉仕委員会　鈴木 武雄委員

75周年記念事業､「みらい育成プロジェクト」のご案内です。

お手元に配布しておりますチラシをご覧ください。

11 月 1 日 (日) に、ショッピングセンターベルにて、第一学院さんが主催する嶺北合同文化祭が開催されます。

本日の福井新聞 3 面にも大きく掲載されていましたが、高校生によるバンド発表や縁日、飲食店ブースなど、交流の機会を創造する新たなイベントとなります。

イベントを盛り上げるために、皆様にぜひとも足をお運びいただくとともに、何かしらご購入して売り上げにも貢献いただき、事業の成功にご協力いただきたいと思います。

どうぞよろしくお願いします。





委員会卓話



米山奨学委員会　瀬越 智和 委員長

「知ることから始める、国際交流と人づくり」

本日は「ロータリー米山記念奨学事業」について、事業の細かな話というよりも、まず「何のための事業なのか」「どんな仕組みなのか」「私たちロータリアンにとってどんな意味があるのか」を、ご紹介したいと思います。

本日の話は 10 月 1 日に配布させていただいているロータリー米山記念奨学事業「豆辞典」の内容をもとにお伝えさせていただきます。今日の話を聞いていただく際には、ぜひ一つだけ覚えておいていただきたいことがあります。

それは、この事業が単なる奨学金制度ではなく、人と人との出会いを大切にするロータリーらしい事業だということです。最後には、皆さまにも「自分たちのクラブなら、どんな関わり方ができるだろう」と考えていただければ幸いです。

米山記念奨学事業をひと言で表すと、日本で学ぶ外国人留学生を、ロータリアンの寄付によって支え、交流を通じて国際理解と人材育成につなげる事業です。大きく三つの要素があります。

一つ目は、留学生が学業を続けるための経済的な支援。二つ目は、奨学金を支給するだけでなく、世話クラブやカウンセラーとの交流を大切にしていること。そして三つ目は、留学生が将来、日本と母国をつなぐ架け橋となることを期待している点です。つまり、お金を支給して終わりではなく、人と人とのつながりを育てるところに特徴があります。

例えば、奨学金を受け取った留学生が、先日の例会での卓話のように自分の国の文化や研究について話す場面を想像してみてください。留学生にとっては日本の社会を知る機会になり、私たちにとっては普段なかなか接することのない考え方を知る機会になります。この双方向の学びがあるからこそ、米山記念奨学事業は特色のある事業だと言えます。

では、なぜ留学生を支援するのでしょうか。

まず、外国で学ぶことは、本人にとって大きな挑戦です。学費や生活費の心配を少しでも減らし、安心して学業や研究に取り組める環境を支えることが大切です。

ロータリアンとの会話やクラブ等での活動の中で、日本の習慣や考え方に触れ、私たちも相手の国の文化や価値観を学びます。このような相互理解が、卒業後も続く信頼関係や国際交流につながっていきます。

米山 梅吉氏について簡単にご紹介します。

米山 梅吉氏は、1920 年に日本初のロータリークラブである東京ロータリークラブの創立に関わり、三井信託㈱の初代社長を務めた方です。社会や教育などの分野にも尽力されました。この事業の背景には、相手の立場に立って考え、人のために行動するという精神があります。留学生を一方的に支援するというよりも、一人の人間として向き合い、互いを尊重しながら関係を築いていく。そうした姿勢が、事業の根底にあると考えると、理解しやすいのではないでしょうか。

米山という名前を聞いたとき、人物の名前と同時に「次の世代を育てる」という考え方を思い浮かべていただけたらと思います。

【支援の流れ】

まず、ロータリアンやロータリークラブなどから寄付が集まります。その資金をもとに、制度ごとの条件に沿って奨学生が選考されます。そして奨学生に奨学金が支給され、学業を続けるための支えとなります。

米山記念奨学事業で大切なのは、その後の交流です。

奨学生は世話クラブやカウンセラーと関わりながら、日本の文化や地域社会について学びます。ロータリアンもまた、留学生との交流を通じて新たな視点を得ることができます。寄付から始まった支援が、奨学金と交流を通じて、人の成長につながっていく仕組みです。

【対象となる留学生について】

大学の学部生や大学院生を中心に、高等専門学校、短期大学、専修学校など、さまざまな課程に関係する制度が紹介されています。また、日本に来る前に応募する制度や、海外の学友会から推薦される制度もあります。ただし、すべての制度で条件が同じというわけではありません。学校や課程、応募方法などによって要件が異なりますので、実際に応募を検討する際には、その年度の募集要項を確認することが必要です。ここでは、幅広い学びの段階にいる留学生を支える仕組みが設けられている、という点を押さえていただければと思います。今日は細かな応募資格を覚えるより、「さまざまな分野で学ぶ若者を応援している」と理解していただければ十分です。

この事業の特徴を三つにまとめます。

一つ目は、交流を重視していることです。奨学生は毎月 1 回以上、世話クラブの例会に出席し、会員と交流するとされています。二つ目は、カウンセラーの存在です。ロータリアンが相談相手となり、日本での生活や学業などについて、身近な立場から支えます。今年度は、畑下会員がカウンセラーとして奨学生を支えています。三つ目は、奨学期間が終わった後も、学友としてつながりが続いていくことです。

奨学金だけでなく、交流と人間関係を大切にしている。この組み合わせが、米山記念奨学事業の大きな特徴です。

【寄付の種類】

普通寄付金は、ロータリークラブが会員数に応じて毎年拠出する寄付です。一方、特別寄付金は、個人や法人などから寄せられる任意の寄付です。こうした寄付が、留学生への奨学金や交流活動を支える基盤となっています。

寄付というと、金額の大きさに目が向きがちですが、重要なのは、留学生の学びを応援し、日本と世界のつながりを育てるという目的に賛同し、支援の輪をつないでいくことではないでしょうか。一人ひとりの支援が集まることで、この事業が続いていきます。「自分一人の寄付では何も変わらない」と感じる方もいるかもしれません。

しかし、米山記念奨学事業は、多くの人が少しずつ支えることによって成り立っています。また、寄付だけが参加方法ではありません。奨学生の話を聞くこと、クラブで温かく迎えること、事業をまだ知らない人に伝えること。そうした行動も、支援の輪を広げることにつながります。

福井ロータリークラブでは 1975 年から 2026 年までの間で、現在の奨学生であるアウン君を含め 23 名の奨学生を支援してきました。

アウン君の支援が終わったとしても、また奨学生を受け入れ支援していくことが続くと思います。米山記念奨学事業についてご理解いただき、ロータリアンとして、クラブの一員として今後もご支援くださいます様お願い致します。

閉会点鐘



副 会 長 清川 卓二

米山奨学生に関連して少しお話します。

日本への留学生は約 40 万人と言われていますが、上位 3 国は、中国（32%）、ネパール（25%）、ベトナム（10%）となっています。奨学生の応募数としては中国人学生が多くなるわけですが、ロータリーとして国際交流の観点から、いろいろな国からの留学生を対象としていくことに配慮しているのが現状です。